

ハンディキャップ委員会活動へのご協力のお礼とお願い

2018年9月 吉日

障がいを持つ方々のスキーをはじめとするウィンタースポーツを支援してゆく目的のために発足したハンディキャップ（以下HC）委員会は19年目を迎えます。昨年度も数多くのボランティアの方々をはじめ、関係組織の方々のご協力をいただき、①HCセミナーⅠ（横浜）、Ⅱ（五竜）②障がいをもつ人のためのスキー教室（1月五竜）③（3月車山）[②③の2行事はスポーツ振興くじ（toto）助成事業]④鹿沢チャレンジカップスキー大会（4月）の4つの行事開催をすることが出来ました。

支援活動をより良くするために開催した10月のHCセミナーⅠでは、「基本的な障がいの理解、知的障がいと立位で滑る下肢障がいをもつ方についてのサポート法」（プレジャーサポート協会馬場賢親氏）の座学と必要なサポートの仕方や用具の理解を学び、1月のHCセミナーⅡでは実際に雪上で介助ベルト・ロープ・立位アウトリガー等を用いて、使用法・サポート法・指導法を学びました。1月の五竜スキー教室では総勢60名（参加者27名、ボランティア・役員他33名）、3月の車山スキー教室では総勢113名（参加者等48名、ボランティア・役員他65名）の参加があり、両行事ともセミナー参加者も加わって無事終わることが出来ました。4月のチャレンジカップには2日間（GS、SL）延べ24人の参加があり無事終了することが出来ました。皆さまのご協力にあらためて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

今年度もこれまでの実践で得られた貴重な経験を踏まえ、HC委員会の活動を支えていただくボランティアの方々が障がいについて理解を深めよりよい支援活動ができるようにHCセミナーⅠ（座学、11月横浜）とセミナーⅡ（雪上実践、1月五竜スキーⅠ）において、下肢障がいもちチェアスキーやバイスキーを使用する方々のサポート法や指導法の講習会を開催いたします。また3月の車山スキー教室では、参加者の方々が参加しやすいように往復バスを利用し、ボランティアの方々のご協力のもと宿泊地、バスでの生活サポートも含めた取り組みを行ってゆきます。4月のチャレンジカップスキー大会のサポートも力を注いでゆきたいと考えております。これらの事業を実施するにあたっては、参加者の実費負担を原則とはいたしますが、セミナーや行事運営、委員会諸活動、ボランティアへの謝礼その他に多くの資金が必要となってまいります。

今年度（30年度）もスポーツ振興くじ（toto）助成金の交付申請が認められましたので、前年度と同様充実した内容で運営が出来るものと考えております。

今年度もHCセミナーへのご参加、ボランティア登録及びスキー教室のボランティア参加もあわせてよろしくお願い申し上げます。なお指導員、準指導員の方々は、研修会・クリニックと併設で行われるHC行事へのボランティアとしてのご協力は研修会、クリニック参加として認められますので、多くの方のご参加をお願いいたします。

（公財）神奈川県スキー連盟
ハンディキャップ委員会

H29年度 ハンディキャップ委員会の活動報告

2018年9月

◎セミナー I・II (障害者外出支援及びスキー指導に関する講習会)

*セミナー I : 2017年10月7日(日) 神奈川県 三ツ沢スポーツ会館
参加者: 20名 講師: 1名 役員: 2名

*セミナー II : 2018年1月19日(金) 長野県 白馬五竜スキー場
参加者: 18名 講師: 2名 役員: 2名

*内容 : カテゴリーA: 知的・下肢に障がいをもつ方を対象とした外出支援のための講習会を実施。より具体的な講習と実践として雪上サポート法を体験・学習しました。

◎障がいをもつ人のためのスキー教室

*第31回スキー教室 2018年1月20日(土)~21日(日) 長野県エイブル白馬五竜スキー場
参加者: 27名(知的8名、肢体下肢7名、視覚聴覚7名、家族5名) 役員・委員: 14名

ボランティア講師: 19名 合計60名 検定会合格者: 3級2名、4級4名

*第32回スキー教室 2018年3月24日(土)~25日(日) 長野県車山高原 skypark スキー場
参加者: 48名(視覚・聴覚 3名、知的 18名、下肢 20名、家族引率 7名)

ボランティア講師: 51名 役員・委員: 14名 合計113名

検定会合格者: 2級1名、3級1名、4級1名、5級1名

*2回のスキー教室は、スポーツ振興くじ助成金(toto)を受けて実施しています。実施のための費用の約48%に当たる1,837,000円の助成を受けることができました。



◎チャレンジカップ

*第16回チャレンジカップ 2018年3月31日(土)~4月1日(日) 群馬県鹿沢スノーエリア
参加者: 13名(視覚1名・知的4名・下肢8名) 役員・委員: 3名

参加者皆さんがGS・SLそれぞれ練習の成果を十分発揮され、良い記録が出ていました。

◎ハンディキャップ委員会活動

2017年6月から11回の委員会と3回の作業会を実施し行事の準備をいたしました。11月の研修会へは手話通訳者の派遣を行いました。スポーツ振興くじ助成への行事会計報告と次年度の助成金申請をいたしました。

◎寄付金

11月指導員研修会理論・1月五竜スキー教室・3月車山スキー教室、ホームページから等で、多くの寄付のご協力をいただきました。行事運営費の一部として、大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

これからも安全で楽しいスキーをより多くの方々に体験していただけるように、準備を進めていきます。

(公財) 神奈川県スキー連盟 総務本部
ハンディキャップ委員会
担当理事 國島 みどり